

賴高市長のあったか市政を問う

一般質問

6月定例会では15・16・19日の3日間で14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



一般質問

NPO法人ベストライフ、障害者介護給付費等 約2,000万円の不正受給問題を厳しく質問！

一 閣 和 一 議 員 (民進党)



NPO法人ベストライフ

議員 去る3月29日、県は介護給付費を不正請求し、受領したNPO法人ベストライフに対し、居宅介護事業者指定を取り消したと聞くが、一連の経過はどのような経過はどのようか。

健康福祉部長 昨年12月下旬に埼玉県に対し、ベストライフが不正請求をしている旨の匿名の情報提供があり、事業所での実地調査等を行った結果、介護給付費及び障害者移動支援事業費を不正に請求し、受領していたことが判明した。不正請求額は総額約2千17

万円であり、市から支払いを求めている返還請求額は、障害者総合支援法の規定による40%の加算額を加えた約2千610万円となり、ほかに障害者移動支援事業費の不正請求額に対する法定利率5%の利息の支払いも求めており、現在返還が始まっている。

万円であり、市から支払いを求めている返還請求額は、障害者総合支援法の規定による40%の加算額を加えた約2千610万円となり、ほかに障害者移動支援事業費の不正請求額に対する法定利率5%の利息の支払いも求めており、現在返還が始まっている。

の見直しを行つとともに、職員の知識や技術の向上を図る。

議員 不正請求と損害の因果関係において、民事及び刑事訴訟として、市はベストライフに対し、どのような対応を考えているのか。

健康福祉部長 収還金の支払いや誠実に履行されることをベストライフに通告済みである。

議員 今後の再発防止策は。

健康福祉部長 市に登録している全障害者移動支援事業者に対し、注意喚起の通知を送るとともに、今後3年間で、障害者移動支援事業費の請求がある事業所に対し、指導監査を実施する。また、指導監査の充実に向け、監査方法等

議員 不正請求と損害の因果関係において、民事及び刑事訴訟として、市はベストライフに対し、どのような対応を考えているのか。

健康福祉部長 収還金の支払いや誠実に履行されることをベストライフに通告済みである。

議員 今後の再発防止策は。

健康福祉部長 市に登録している全障害者移動支援事業者に対し、注意喚起の通知を送るとともに、今後3年間で、障害者移動支援事業費の請求がある事業所に対し、指導監

査を実施する。また、指導監査の充実に向け、監査方法等

議員 北町コミュニティ広場の再整備について

議員 新たな専用駐車場等の再整備を検討する考えはないか。

健康福祉部長 指導員の確保が厳しい中で、延長保育を実施しているところであり、ご理解いただきたい。

議員 夫婦共稼ぎやひとり親家庭の就労形態が多様化する中で、留守家庭児童指導室の保育時間について、戸田市やさいたま市のように、延長保育を申請しなくとも午後7時までと見直してはどうか。

議員 留守家庭児童指導室における保育時間の見直しについて

の見直しを行つとともに、職員の知識や技術の向上を図る。

議員 夫婦共稼ぎやひとり親家庭の就労形態が多様化する中で、留守家庭児童指導室の保育時間について、戸田市やさいたま市のように、延長保育を申請しなくとも午後7時までと見直してはどうか。

議員 留守家庭児童指導室における保育時間の見直しについて

の見直しを行つとともに、職員の知識や技術の向上を図る。

議員 夫婦共稼ぎやひとり親家庭の就労形態が多様化する中で、留守家庭児童指導室の保育時間について、戸田市やさいたま市のように、延長保育を申請しなくとも午後7時までと見直してはどうか。

議員 留守家庭児童指導室における保育時間の見直しについて

の見直しを行つとともに、職員の知識や技術の向上を図る。

議員 夫婦共稼ぎやひとり親家庭の就労形態が多様化する中で、留守家庭児童指導室の保育時間について、戸田市やさいたま市のように、延長保育を申請しなくとも午後7時までと見直してはどうか。

議員 留守家庭児童指導室における保育時間の見直しについて

わらび市議会だより No.199

食物アレルギーのある子どもたちの環境整備を問う



エピペンは太ももの前外側に打ち、衣類の上からでも可能

に、このよつたな研修
健康福祉部長
社協

議員 食物アレルギーのある子どもは微増傾向にある。特に市内小学校の給食でアレルギー対応の児童は5月1日現在、2千978人中55名で、エピペン（※）所持児童は15名だが、その対応はどのようか。

教育部長 保護者から食物アレルギー対応の申請がある場合は、保護者、学校、給食センターでの三者面談を行うとともに、毎月個別に原因食品を含む料理名に印をつけた献立表を保護者と学校に配布している。また、食材の詳細な情報を載せた一覧表を配布したり、牛乳アレルギーのある児童には飲用牛乳の提供を停止するなどの対応を行っている。また、各校で食物アレル

ギー対応マニュアルを作成し、校内研修で配慮を要する児童の情報共有や救急車要請のシミュレーション、エピペントレーナーを使用した実習など実践的訓練等を行っている。

議員 留守家庭児童指導室におけるエピペンを含めたアレルギー対応はどのようか。

健康福祉部長 アレルギーがある児童にはアレルゲンを含むおやつを提供しないよう配慮するなどの対応をしている。また、放課後児童支援員の配置を現在進めており、その研修の中で「食物アレルギーのある子どもの対応」というカリキュラムを受講している。

議員 「ウォーキングと筋力アップで健康密度も日本一プロジェクト」で県から高い評価を受け、1千万円の特別調整交付金が国保会計に入ったが、これを一般会計で健康づくりに活用できないか。

市民生活部長 国保会計の収入が増える分、一般会計からの繰出金が減少するため、市民全体でその恩恵を享受できるものと認識している。

市長 どういった健康づくりに活かされているのかについてのアナウンスのやり方を工夫しながら、これまでの成果を活かし、さらに市民的な健康づくりに取り組みを広げ、市民に還元していきた。

おおいし けいこ

保育園や小・中学校の熱中症対策について

あつたか市政を問う

議員 近年、地球温暖化の影響が異常気象をもたらし、暑い夏、尋常でない暑さが我々を襲つてくる。保育園や小・中学校では、熱中症にならない工夫が大事である。具体的な熱中症対策はどのようか。

健康福祉部長 保育園では、エアコンによる空調管理や水分補給を十分にするとの徹底などの管理を適切に行い、予防するよう努めている。

教育長 各学校では、児童・生徒に水筒を持たせ、適宜水分補給を促すこと、熱中症の危険性が高い場合は校庭での運動を制限したり、部活動では休憩の回数を増やしたりするなどの対策を講じている。

議員 保育園や小・中学校に経口補水液は常備しているか。

市民生活部長 避難所開設キットは、避難所開設に必要なマニュアルや資器材を1つずつ用意して、本市独自のものを用意すべきと思うがどうか。

病院事務局長 夜間に入院患者を病院外に避難させるための計画はできているのか。また、各階何人体制か。

教育長 対応できるように検討したい。

議員 夜間に入院患者を病院外に避難させるための計画はできているのか。また、各階何人体制か。

市民生活部長 避難所開設キットは、避難所開設に必要なマニュアルや資器材を1つずつ用意して、本市独自のキットの必要性について、避難所運営訓練の検証結果や自主防災組織の意見を踏まえ判断したい。

議員 避難所開設に必要な品を用意して常備しておくことが大切だと考える。他の自治体等の開設キットを参考にして、本市独自のものを用意すべきと思うがどうか。

病院事務局長 夜間に職員体制は看護師等が5階病棟に3人、3階病棟に2人、2階病棟に2人、1階病棟に2人、3階病棟に2人、2階病棟に2人となつており、入院患者を安全に避難誘導するためには人員的な課題がある。そのため、時間外職員参集基準や非常招集方法等マニュアルを定め、速やかに発災時への初動応援体制を整えて対応していかたいと考えている。

おおいし こういち



大田区が取り組んでいる「避難所開設キット」（大田区ホームページより）

水増し請求されても告訴せず 不正には毅然とした対応を



えのもと かずたか

議員 南町におけるNPOの法人ベストライフで、職員であり、利用者でもある障がい者が、市に架空の利用による水増し請求を行った件について、返還請求額はいくらいか。

健康福祉部長 2千610万円。

議員 理事長、理事、当事者の3者が返還していくとのことだが、組織的行為でなく、単独犯と断定した理由は。

健康福祉部長 県じ市で実地調査をし、調書を取つたが、その中で単独で行つたと総合的に判断している。

議員 本来備え付けられるべき日誌がなかつたことだが、県の3年に1回の監査で見抜けなかつたのか。

健康福祉部長 県の監査がどのように行われているのかは、わからんない。

議員 每月の返済額が少額のことだが、全額返つてくると思ってらるのか。

健康福祉部長 事業所としての事業ができなくなり、違う仕事で生活をして返していく

議員 昨年「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行された。今後の取り組みは。

健康福祉部長 今後、国が法に基づく計画を策定し、地方自治体に具体的な取り組みを

議員 今回の件は詐欺であり、犯罪ではないのか。

健康福祉部長 非常に悪質なものだと思つてゐる。

議員 刑事告訴しない理由は、事業者の利用者が他の事業者に移行できるように手続きをしている。あわせて返済を着実に進めるため、刑事告訴は保留している状態である。

議員 他のしつかりやつている事業者に示しがつかないのではなかろうか。不正をしておられることが返せば済む問題ではない。毅然とした対応を求める。

議員 今年の12月に国の計画が示されるようだが、その時には迅速に対応してほしい。



出所後に職がない人の再犯が多い

あつたか市政を問う

議員 近年の平均気温の上昇は温暖化と称され、9月に入つても30度を超えるのは当たり前、厳しい残暑に見舞われることが普通になりつつある。このした状況で運動会・体育祭を春に開催する学校が増えているが、本市では9月に行われ続けている。暑さ対策がされているためか、大きなトラブルになつたとは聞き及んでいながら、より安心な運営に努めることが主役の児童・生徒にとって大切なことは言つてもない。運動会・体育祭の開催時期については、どのように検討されているか。

教育長 開催時期については、体力的にも、技術的にも個々の力を十分発揮できる時期であることや学校の年間行事等を総合的に判断して、中学校は9月中旬に、小学校では9月下旬にそれぞれ一斉に実施している。なお、開催期日については、毎年度校長会において検討し、決定している。

議員 本部や来賓席だけでは、児童・生徒の応援席にテント設置を検討してはどうか。

教育長 現在、市内各小・中学校では、各校の実情に応じテントを設置している。今後も各学校において児童・生徒数、テントの保有数などに応じ、熱中症対策の一つとしてテントを有効活用するよう指導していきたい。

議員 一部の学校でテントを活用しているのだが、町会等に協力を依頼して、子どもたちのためにもっと多くのテントを張ることはできないか。

教育長 テントの数をえりえりだけ、かなりの時間と労力が必要になる。全部の学校では難しいと考えている。

市民生活部長 今のカラスネットを2枚独自につなげて対応しているところもあると聞いてるので、大きめのサイズの検討も必要かと考えている。公衆衛生推進協議会や各町会と協議を続けていきたい。

議員 カラスによるゴミスティックのゴミの散乱が最近



ごみを荒らすカラスへの対策を

運動会・体育祭の開催時期を変更すべき



ひき こうじ

特にひどい状況にある。管理する人たちが掃除をするのが、市としてよりいつそうの本腰を入れた取り組みが必要だと考える。そこで、より大きなものや重りつきなど、機能が充実したカラスネットの支給などを検討してはどうか。

議員 本部や来賓席だけでは、児童・生徒の応援席にテント設置を検討してはどうか。

教育長 現在、市内各小・中学校では、各校の実情に応じテントを設置している。今後も各学校において児童・生徒数、テントの保有数などに応じ、熱中症対策の一つとしてテントを有効活用するよう指導していきたい。

議員 一部の学校でテントを活用しているのだが、町会等に協力を依頼して、子どもたちのためにもっと多くのテントを張ることはできないか。

教育長 テントの数をえりえりだけ、かなりの時間と労力が必要になる。全部の学校では難しいと考えている。

市民生活部長 今のカラスネットを2枚独自につなげて対応しているところもあると聞いてるので、大きめのサイズの検討も必要かと考えている。公衆衛生推進協議会や各町会と協議を続けていきたい。

議員 カラスによるゴミスティックのゴミの散乱が最近

小学校舎は10、20年後から順次寿命がくる。そろそろ学校適正規模適正配置の議論を始めよう。

議會 平成23年、議會は一学校適正規模適正配置審議会の設置を求める決議を可決した。その後の進捗は。

学校の統廃合を考慮するとしている。現在、児童数及び学級数は増加傾向で、基本方針の統廃合を考慮する状況にない。

議長 議会はその基本方針を承知した上で、決議をしたわけだが、どう捉えるのか。

市長 決議は重く受けとめるが、客観的に見て審議会で検討する状況に至っていない。

議長 議会の決議を軽んじてるのは遺憾。では、生徒数・学級数ではなく、ファシリティマネジメントの観点から申し上げる。小学校校舎は老朽化が進み、10～20年後から順



校舎の寿命が来る前に時間をかけて備えよう

議員 今年度の予定と、国庫補助金の獲得見込みは。

次寿命がやつくる。他市区の事例では、合意形成に長く10～15年間かかっている。統廃合はイヤなものだが、現実的に検討が必要だ。それと審議会を設置し、議論をすべきではないか。

市長 安全・安心に繋がる、
とは現実的に優先しているが、
それ以外は一切やらないでいい
わけではない。施設のよ
り有効的な活用を考慮し、総合
的に判断して行っていき。

照明灯新設を予定している。
議員 公共施設の耐震化は(は)まだ終わっていない。内水対策、区画整理、公民館への工
レベーター設置など、安全・安心に関わるもので、市民か
らの土木系の要望は他にもむけあこがれである。特に要望も無い

都市整備部長 家屋移転は31棟を予定。補助金獲得見込みは、要望額2億9千590万円に対し、分配額が1億4千795万円で、交付率50%である。



ほや たけし

あつたか市政を問う

議会中継をご利用ください

市議会では、インターネットによる本会議中継（ライブ中継・録画放映）を実施しています。蕨市議会ホームページからいつでも簡単に視聴することができるので、ぜひご利用ください。

○ホームページの利用方法

市議会のホームページは、蕨市のホームページ (<http://www.city.warabi.saitama.jp>) とリンクしています。まず、蕨市のホームページをお開きください。次に、「蕨市議会」をクリックすると、簡単にご覧になれます。

請願と陳情の提出方法

請願・陳情は①～⑥の必要事項を記入して作成し、議会事務局にご提出ください。提出時期はいつでもかまいませんが、当該定例会にかかるものは事務処理の都合上、定例会召集日の9日前（当日が休日にあたる場合は、休日直前の平日）の午後5時で締切となります。

また、蕨市議会では、請願・陳情を市民の皆さまからの政策提案と位置付け、委員会の審査において、その提案者から意見を聴く機会を設けています。詳細は議会事務局へお問い合わせください。

9月定例会の日程（予定）

9月1日(金)	開	会	14日(木)	委	員	会
7日(木)	質	疑	15日(金)		〃	
8日(金)	委	會	25日(月)	一	般	質問
11日(月)		〃	26日(火)		〃	
12日(火)		〃	27日(水)		〃	
13日(水)		〃	29日(金)	閉		会

傍聴に来て
みませんか?

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。
【問い合わせ】4階 議会事務局 電話(433)7733(ダイヤルイン)

広報広聴委員会を開催しました

6月19日「9月発行号の概要について」

6月21日「議会報告会について」

8月8日「9月発行号の最終確認について」

政務活動費の執行状況をお知らせします

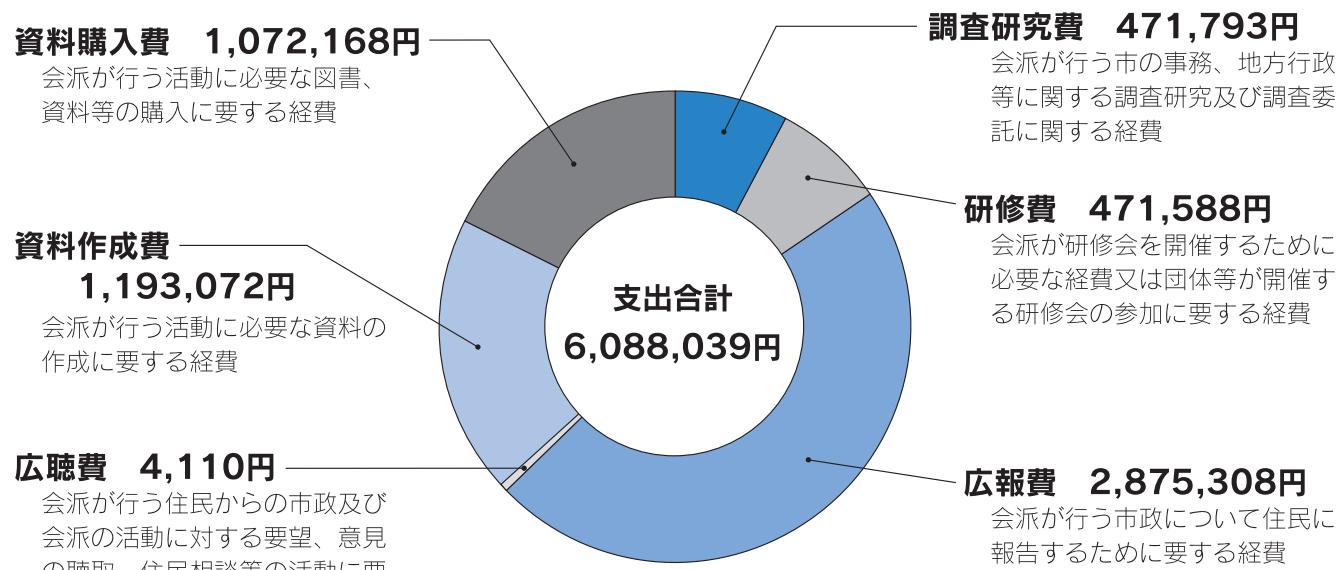
平成28年度に各会派に交付された政務活動費の執行状況は次のとおりです。蕨市議会では使途の透明性を高め、各会派の活動内容を明らかにするために収支報告書を公開しています。
(議員1人あたり月額33,000円の政務活動費が交付されました。)

平成28年度政務活動費收支報告

(単位: 円)

会派名		新生会 (9人)	日本共産党 (4人)	公明党 (3人)	民進党 (1人)
項目		額	額	額	額
交	付	3,564,000	1,584,000	1,188,000	396,000
1	調査研究費	347,332	0	124,461	0
2	研修費	363,320	108,268	0	0
3	広報費	1,633,434	842,562	167,520	231,792
4	広聴費	1,640	2,470	0	0
5	資料作成費	437,616	187,386	489,405	78,665
6	資料購入費	359,040	178,132	407,075	127,921
7	人件費	0	0	0	0
8	事務所費	0	0	0	0
支	出	額	3,142,382	1,318,818	1,188,461
返	還	額	421,618	265,182	0

※新生会は421,618円を、日本共産党は265,182円をそれぞれ返還済みです。



この梅雨は、関東地方ではさっぱり雨が降りませんでした。水不足がため、荒川水系では取水制限までも行われました。市内の農家は、お湿りがこなくてこまつたこまつたと嘆いていたものです。他方では、九州北部では豪雨が甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた方々にお悔やみ、お見舞い申し上げます。

こちらでは水不足、あちらでは豪雨と、自然現象はなかなか人間の都合のいいようにはいかず、これを予測することすら困難です。

九月一日は防災の日です。大正十二年九月一日の関東大震災に由来して制定された記念日です。記念日といつても、めでたい日ではありません。台風の襲来が多いとされる二百十日(立春から二百九日後)の日にあたり、「災害への備えを怠らないようにしよう」という戒めもこめられているそうです。

私たちのまち、蕨は、海からも山からも遠く、自然災害が少ない暮らしやすいまちです。しかしながら、しつかりと備えをして、いざという時に慌てず助け合い、少しでも被害を少なくするべく対処したいものです。